

製品安全データシート (SDS)

1 製品及び会社情報

製品名	モノタロウ 業務用内容ガラスクリーナー(原液使用タイプ)
会社名	株式会社 MonotaRO
所在地	兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名	商品お問合せ窓口
電話番号	0120-443-509
FAX番号	0120-289-888
緊急連絡先	所在地と同じ

2 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性：	
引火性物質	区分3
健康に対する有害性	
急性毒性（経口）	区分外
急性毒性（経皮）	分類できない
皮膚腐食性／刺激性	区分外
目に対する重篤な損傷／目刺激性	区分2B
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	区分1B
発がん性	区分外
生殖毒性	区分1A
特定標的臓器/全身毒性（単回暴露）	区分3
特定標的臓器/全身毒性（反復暴露）	区分1
吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	
水性環境性有害性	区分外
水性環境慢性有害性	区分外
オゾン層への有害性	分類できない

GHSラベル表示

絵表示またはシンボル



注意喚起語	危険
危険有害性情報	引火性液体及び蒸気 眼刺激 遺伝性疾患のおそれ 生殖能または胎児への悪影響のおそれ 臓器の障害

注意書き

< 予防策 >

環境への放出は避けること

< 応急処置 >

目に入った場合

特に問題はないと考えられるが、刺激等の異常が残る場合には直ちに医師の診断を受ける。

皮膚に付いた場合

特に問題はないと考えられる。

吸入した場合

特に問題はないと考えられる。

呑み込んだ場合

アルコールを含んでいるので、大量に飲み込むと酩酊するが少量では有害性はないと考えられる。

< 保管 >

液が漏出しないように使用後は必ず密封する。

高温多湿、火気などを避ける。容器を転倒させたり、落下させたり等の乱暴な取扱いをしない。

< 廃棄 >

廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、都道府県の許可を得た業者に委託すること。

3 物質の特定

単一製品・混合物の区別：混合物

含有成分及び含有量

(成分名)	(含有量w t %)	(CAS. NO)	(適用法令)
エタノール	20以下	64-17-5	安衛法
界面活性剤	非公開	既存	なし
香料	微量	非公開	なし
精製水	バランス	7732-18-5	なし

4 応急措置

目に入った場合

特に問題はないと考えられるが刺激等の異常が残る場合に直ちに医師の診断を受ける。

皮膚に付いた場合

特に問題はないと考えられる。

吸入した場合

特に問題はないと考えられる。

飲み込んだ場合

アルコールを含んでいるので、大量に飲み込むと酩酊するが少量では有害性はないと考えられる。

5 火災時の措置

消火方法

火元への燃焼元を断つ。初期消火には、粉末、炭酸ガス泡消火器等を用いる。

消火者の保護

適切な保護具（保護手袋、保護マスク、保護眼鏡）着用する。

6 漏出時の措置

多量の場合

土嚢で流出を防ぎ、ポンプ等で空容器に回収する。

その後、漏出区域周辺を多量の水で洗い流すこと。洗浄液は地面や排水溝等にそのまま流さないこと。回収して適当な容器に入れる。

少量の場合

ウェス、おがくず等に吸収させて空容器に回収する。残りは量の水で洗い流す。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い 取扱時は必要に応じて保護具を着用する。作業場の換気を十分に行う。

保管 液が漏出しないように密封する。
直射日光、高温多湿、火気などを避けて密封して子供の手の届かない所に保管する。容器を転倒させたり、落下させる等の乱暴な取扱いをしない。
凍結の恐れのある場所での保管を避ける。

8 暴露防止措置

組成物の有害性及び暴露濃度基準

原料名	管理濃度	ACGIH	IARC	その他
エタノール	設定されてない	1 0 0 0 p p m	設定されてない	情報なし

製品について

管理濃度 設定されていない
許容濃度 データなし
保護具 特に必要としない
設備対策 特に必要としない

9 物理及び化学的性質

外観 無色透明液体
臭気 アルコール臭
比重 0.96 - 0.98 (原液 20℃)
pH 中性
溶解性 水に溶解する
引火点 約40℃以上 (推定)
爆発限界 (下限) データなし (上限) データなし
蒸気圧 データ無し
可燃性 燃焼する
発火点 データなし
酸化性 なし

10 安定性及び反応性

安定性 通常の取り扱い条件においては化学的に安定。
避けるべき条件 高温 スパーク 裸火
混融危険物質 特になし
危険有害な分解生成物 燃焼してCO₂、COを生成する

11 有害性情報

エタノール

刺激性 (皮膚、目)

皮膚
目

ラビット 400mg 開放 軽度 500mg / 24H 重度
ラビット 100mg / 24h 中度

急性毒性

LDLo ヒト 1400mg / kg 行動 胃腸、(吐き気)
経口 LD50 ラット 7060 mg / kg 呼吸器系

一般毒性

吸入 LC50 ラット 2000ppm / 10h 毒性未評価
経口 ヒト (M) : TDLo 700mg / kg 行動 (精神生理学上)
注射 ラット LD50 1440mg / kg 呼吸器系

亜急性毒性
感作性
慢性毒性

注射 イヌ LD₅₀ 1600mg/kg 運動失調、呼吸器系
腹腔 哺乳類 LD₅₀ 4300mg/kg
情報なし
ヒト 弱い
ウサギに本物質を10日間経口投与した場合、一時的な食欲低下があった
小核 マウス（腹腔）1240mg/kg/48H
情報なし
経口マウス TD₅₀ 320 mg/kg/50週 毒性
未評価
吸入ラット TCL₀ 2000 ppm/7h、妊娠 1～
22発育異常

変異原性
催奇形性
がん原性

生殖毒性

1.2 環境影響情報

エタノール

残留性/分解性

理論酸素要求量：2.1 (mg/L)
BOD₅：0.93～1.67 (mg/L)
COD：1.99～2.11 (mg/L)
バクテリア硝化能の抑制 4100 (mg/L) でニトロソモナス
種のアムモニア酸化の50%抑制

生態蓄積性
生態毒性 魚毒性

低い
マスの稚魚 24h LC₅₀ 11.2 (g/L)
コイの一種 96h LC₅₀ 18～13.47 (g/L)
クレークチャブ 24h LC₅₀ 7 (g/L)
グッピー 7d LC₅₀ 11 (g/L)

1.3 廃棄上の注意

廃液、容器等の廃棄物は、認可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理する。
容器、製造装置などを洗浄した排水はそのまま流さないこと。
排水処理により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って
処理を行うか、委託すること。

1.4 輸送上の注意

陸上輸送
海上輸送
航空輸送
注意事項

取扱い及び保管上の注意の項に従う。
船舶安全法に定めるところに従う。
航空法に定めるところに従う。
運搬に際しては容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落、
損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を完全に行う。

1.5 適用法令

消防法
労働安全衛生法

非危険物
使用原料 エタノール 施行令 別表第1危険物 4 引
下性の物
施行令 別表第9 名称など通知すべき有害物 61
該当せず
該当せず

毒物及び劇物取締法
PRTR法

1.6 その他の情報

(参考文献)

化学工業日報：15107の化学商品（2007）
社団法人日本化学会編：化学便覧（改訂5版）、丸善（2003）

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しており、上記の情報は新しい知見により改訂されることがあります。又危険有害性の評価は必ずしも十分ではないので製品の取扱いには充分注意して下さい。また、情報は安全を保証するものではありません。本品の適正な使用については使用者の責任において行って下さい。